

< 大綱に記載された具体的施策の進捗状況 >

具体的施策の業績指標の項目	第3回点検時の進捗状況
【1, 人工排熱の削減】	
・機器の省エネルギー目標 18 品目の特定機器に関する省エネルギー目標を設定	特定対象 21 品目
・住宅、建築物の省エネルギー化率 新築住宅 5%(11 年度) 50%(20 年度) 新築建築物 34%(11 年度) 80%(18 年度)	新築住宅:30%(17 年度) 新築建築物:74%(16 年度)
・実用段階にある低公害車の普及 1,000 万台以上の普及(22 年度までのできるだけ早い時期)	約 1440 万台(全保有台数の約 29%)(18 年度)
・3 大都市圏環状道路整備率 35%(14 年度) 60%(19 年度)	50%(18 年度)
・道路渋滞による損失時間 38.1 億人時間(14 年度) 約 1 割削減(19 年度)	33.1 億人時間/年(約 13%削減)(18 年度)
・信号制御の高度化により短縮される通過時間 3.2 億人時間(14 年度) 約 1 割削減(19 年度)	約 2.3 億人時間/年(進捗率約 72%)(18 年度)
【2, 地表面被覆の改善】	
・都市域における水と緑の公的空間確保量 12 m ² /人(14 年度) 13 m ² /人(H19 年度) (12 m ² /人を約 1 割増)	12.8 m ² /人(約 7%増加)(17 年度)
【4, ライフスタイルの改善】	
・冷房温度 28 への引き上げ、 暖房 20 への引き下げ 約 44 ~ 85 万 t-CO ₂ 削減(22 年度)	114 万 t-CO ₂ 削減(18 年度) (クールビズ成果)
・省エネ法適用外機器の効率機器の買い換え及び 利用 約 354 ~ 412 万 t-CO ₂ 削減(22 年度)	500 万 t-CO ₂ 削減(17 年度)

注) 年度は平成